

平成 24 年度 全国青年委員長会議



平成 25 年 3 月 9 日(土)～平成 25 年 3 月 10 日(日)の二日間を掛けて全国の青年委員長会議が公益社団法人日本建築士連合会青年委員会の主催で開催されました。現在、静岡県青年企画委員会では八木青年企画委員長が連合会に出向しているため、代理として出席しました。会議は前半は大阪府建築士会岡本森廣会長の基調講演がありました。講演は岡本会長が青年だったころに「昭和 60 年全国研究

集会」当時の様子や当時考えていたことを講演をなされました。当時の岡本青年も現在の私たち青年と同じ悩みを抱えてたことを知り、さらに今も青年委員会を暖かく見守り続けていらっしゃることに、とても心強く感じました。

次にワールドカフェ方式という、5～6名の少数グループに分かれて、お茶菓子を食べながらリラックスしてカフェで会話するようにワークショップ(協議)を行う方法です。テーブルマスターという固定のリーダーを一人決め、他の参加者は一定時間ごとに別テーブルに移動し、新しいテーブルで議論を行います。新しいテーブルに移動したときに前のテーブルで上がった議論などを報告し合いながら、次の協議に移ります。5名が違うテーブルのエッセンスを



凝縮した報告をすることによって協議も弾みました。何度か繰り返すことによって各テーブルの協議が全体に広がります。その上で各テーブルごとに不思議と特色ある「まとめ」が出来ます。このあたりはテーブルマスターの個性が出てくるのかもしれませんが。

このワールドカフェ方式もさることながら全国 48 都道府県地域から出席している全国の青年委員長と議論をしていると、地域性の違いもあって、とても幅広い議論になりました。ただ、根底に抱えるものは同じなようで、新規会員の減少、予算の減額、各建築士会の委員会、協議会とのジェネレーションギャップの問題、公益社団法人、社団法人の違いなど共通する課題がありました。ただ、そのなかでも成功例はありました。

まず、予算では「少ないなら自分たちで作らそう」と特定の市のローカルルールも考慮した確認申請の手引き書作成と販売。新規会員の取得には 20 歳代限定のグループを作成し、自由に企画運営をさせて若年層の入会率を上げている県など見習うべき所も多かったです。特に若い 20 歳代の世代とは青年委員長ですら一回り年齢差があるためなるべく勧誘も若い人間に任せるとい現実には則した方法を実践し、成果を上げているのはとても興味深く、今後の委員会運営に生かせるなど思いました。



平成 25 年 5 月 21 日 青年企画委員会 小倉博文

東部ブロック事業報告

平成24年12月4日に、三島市民文化会館にて東部ブロック事業研修委員会による勉強会として、建築士事務所の表示行為、文書、管理、帳簿、実績等の書類等々、業務として必要な事項についての講習並びに、建築基準法の確認審査、検査における特例事項の再確認についての講習会を行いました。



会場の様子



講師 沼津土木事務所建築住宅課 仁藤氏



講師 静岡県建築住宅まちづくりセンター 大島氏

今年度はまず6月に1回目の講習会を、その後2回にわたり講習会を計画していますので、皆様の参加をお待ちしています。

東部ブロック事業研修委員会 委員長 藤本 文彦

平成25年1月12日に、富士スピードウェイにて行われた、ママチャリグランプリに、東部ブロック青年企画委員会による建築士会のPR活動の一環として参加してきました。

今年度は青年委員会以外の会員の参加や、岐阜県建築士会からの参加もあり、のぼり旗を新たに作成し、昨年度以上の盛り上がりがありました。



ピットロードにて



ホームストレートを疾走



参加メンバー集合写真

東部ブロック青年企画委員会 三田 芳之